

私たちは去年の四月に入学した助産学コースの1年生7名です。  
この一年間の大学院生活と大学院の魅力をお伝えしたいと思います。

# 鹿児島大学大学院 助産学コースの1年



# 4月 入学

4月からスタートした大学院生活、この写真は今年ブラジルから留学してきた恵さんの歓迎会を大学院1・2年生と教員で行ったときの写真です。入学したばかりで緊張していましたが先輩方・先生方みなさん優しくて安心しました。



# 5月 自己学習&プレゼン



## 新生児黄疸

検査員  
川口 直樹



## 検査の方法

- 経皮的ビリルビン測定法
- 血清ビリルビン測定法
  - 毛細血採血(足底採血)
  - 静脈採血
  - 臍帯血採血
  - 動脈採血



## 経皮的ビリルビン測定

【メリット】

- 非侵襲的
- 即座して有効なモニタリングが可能
- 即時で評価できる

【注意点】

- 血清ビリルビン値と多少からず誤差が生じる。値が高いほどその差は大きくなる。
- 乳頭皸裂や手の場合は精度が落ちる



## アンバウンドビリルビンセオリー

アンバウンドビリルビン値が低くなりやすい理由

- 新生児は成人と比べヘパルブリンのビリルビンに対する親和性が低い(胆汁生になる速くなくなる)
- 胎盤生体循環ではアルブミンが豊富である。
- 第一結合部位はタイト、第二結合部位は結合力が弱い



多様な薬剤を使用することにより、第一結合部位が阻害内阻を受け第二結合部位へと移動する

## 採血方法 ～足底採血～

採血部位を柔らかくしていいときに見出す  
採血部位は硬さを避け、30-35℃以上暖かい  
絞らず必ず2回追加採血の回数になる  
下部に採血ルートがあるときは採血の下で  
4-5分冷たいのは採血を促す効果がある

毛細血採血の場合データ解釈  
ヘマトクリット値が採血部位に高ヘマトクリット値になる  
多量採血の場合は採血部位が乾燥による変化がある




## 注意事項

- 手順の正確な位置と予測
- 右検査の結果を踏まえてアセスメントすること
- 濡った靴にならないように検査の手順を守る



大学院での授業は学部の授業とはすこし異なります。自分で勉強したことをみんなの前で発表する機会がたくさんあり、みんなで意見をいながら授業を積極的に進めて行きます。このころはプレゼンテーションが下手だったり上手く意見が言えなかったりしましたが、徐々に上達しているのではないかと考えてます。



# 6月 母親学級



6月には妊婦さん役の先生方を対象に母親学級をしました。  
2グループに分かれて分娩に向けた指導や陣痛緩和法・呼吸法などを行いそれぞれ発表しました。





# 7月 TA (ティーチング・アシスタント)



これはティーチングアシスタントの様子です。

去年の7月に私たち院生1年がみなさんに母性看護技術について授業を行ったと思いますが、みなさん覚えていますか？院生1年になると、学部みなさんに様々な母性看護技術を教える機会があります。指導案の作成から実施、評価まで先生のご指導をいただきながら行っていきます。



何度も指導案を改善していきながら、みなさんに分かりやすく授業を展開できるように試行錯誤しながら進めていきました。



# ボランティア

私たちは、授業や研修の合間にボランティアも行いました。これは、イオンモール鹿児島で乳幼児の身体計測の補助や、妊婦体験、抱っこ体験の補助を行いました。鹿児島のキャラクターであるぐりぶーとさくらの着ぐるみを来て、子どもたちに触れ合うこともでき、楽しくボランティアを行うことができました。





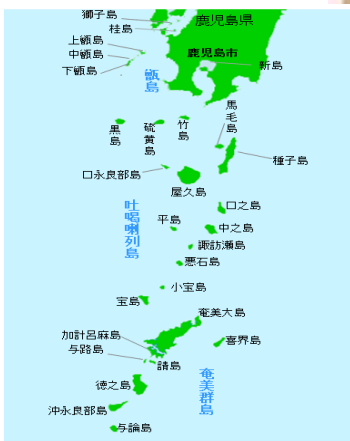
# 8月オープンキャンパス

これは、学部生のみんなとオープンキャンパスでの看護体験のお手伝いをしている様子です。  
オープンキャンパスが終わったあと、みんなで楽しくお掃除しました。キメ顔ですね（笑）



# 9月 離島実習

これは離島実習の時の写真です。毎年9月中旬に1週間、1年生と2年生が半分ずつ分かれて奄美と徳之島に行きます。





# 徳之島

これは徳之島を観光したときの海の写真です。実習だけではなく、観光もできました。





# 奄美

これは奄美の写真です。お世話になった助産師さんにマグロをごちそうになりました。



# 離島実習 報告会

1週間の実習のあとは、報告会を行います。このように、学んだことをスライドにまとめて発表します。1年生は、離島の周産期医療という大きなテーマで行いますが、それぞれの施設や地域の特色があり、報告会で共有することで新たな視点を得ることが出来、学びをより深まりました。また、2年生は1年生の時の実習で見出したテーマを一人一人もって実習に臨み、さらに深い内容となっていました。



1

名瀬徳洲会病院

徳洲会グループの病院

2

実習の目的

1. 離島の周産期医療の現状を知る
2. 産婦科、妊婦・産婦・産科、新生児との関わりを通して、高齢で働く助産師について知る

3

名瀬徳洲会病院 産婦人科の体制

産科と産婦人科の体制

産科 産科 産科 産科 産科

産科 産科 産科 産科 産科

産科 産科 産科 産科 産科

4

離島の周産期医療で重要なこと

予防

緊急時の対応

5

予防 ～妊婦健診の場面から～

妊婦健診の重要性

妊婦健診の重要性

6

予防 ～新生児の採血の場面から～

新生児の採血の重要性

新生児の採血の重要性

7

緊急時の対応 ～シミュレーション～

緊急時の対応

緊急時の対応

8

緊急時の対応

シミュレーションに参加して

シミュレーションに参加して

9

10

全体を通して

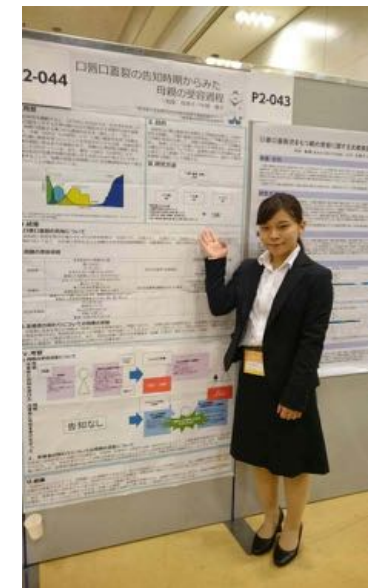
全体を通して



# 10月 学会発表

10月は神戸で行われた日本母性衛生学会に参加して、ポスター発表を行いました。ポスターの内容に興味をもってくださいました方とお話をしたり、最新の知識を得ることができました。

全国で頑張っている産婦人科に関わる方々のお話を聞くことができ、学びの深まる経験となりました。



# 産褥期保健指導

10月は産褥期の保健指導を行いました。産褥期の保健指導はお産を終えたお母さんが、お家に帰ってからスムーズに日常生活にうつれるように、入院中に情報を提供します。

これは乳房ケアの説明と、母子手帳の説明と、家族計画の説明を行っています。グループで何度も練習を重ねて、発表に臨んでいます。



# 11月 調理実習・助産所設計

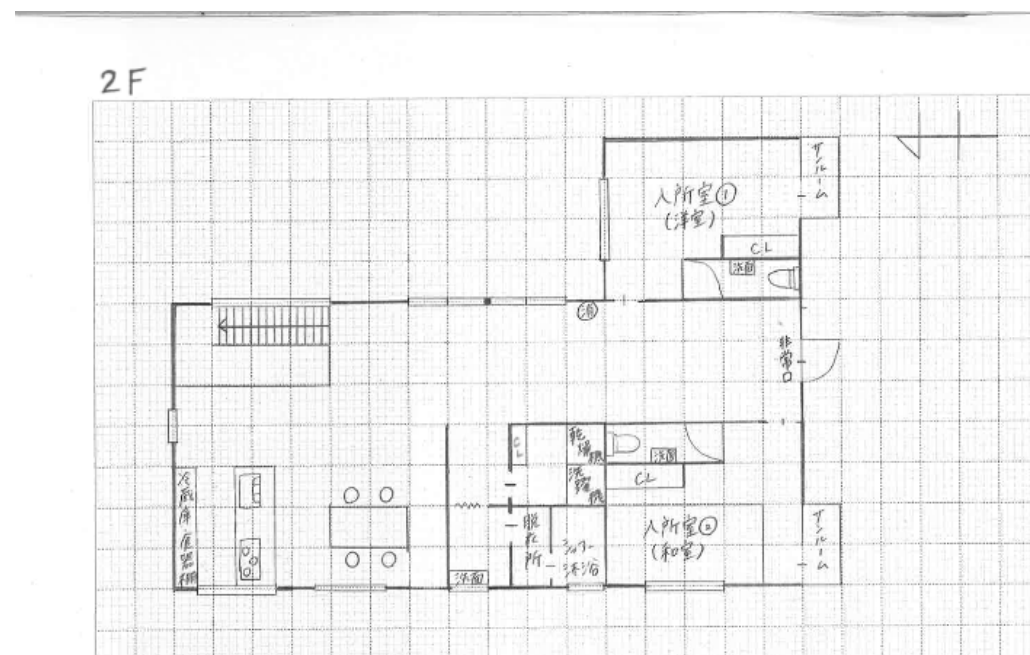
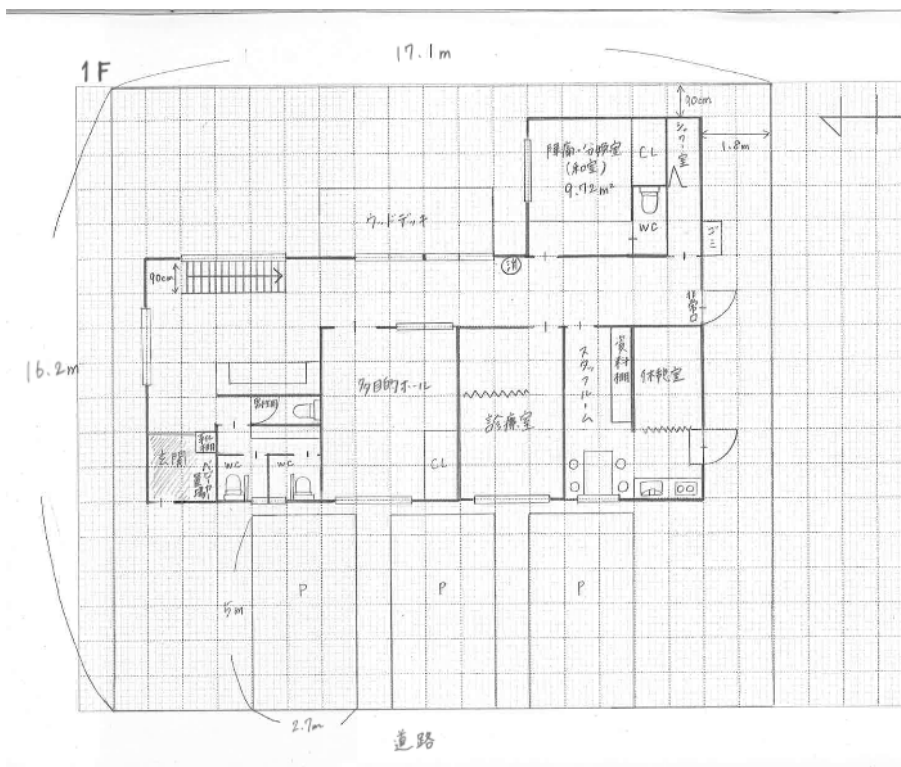
11月は郡元キャンパスで調理実習をおこないました。妊娠高血圧症の妊婦さんの食事や貧血の妊婦さんの食事、離乳食など、それぞれに与えられたテーマをもとに調理を行いました。  
調理の後はみんなで食べます♡





# 助産所設計

11月は助産所設計をしました。助産師には看護師との大きな違いとして、開業権が与えられています。学生はそれぞれ、建築基準法や消防法を自分で勉強して、建築費用や土地代、物品を計算し、実現可能な助産所を計画します。設計するのはとても難しかったですが、助産院の名前や物品、位置には個性が出て、とても面白かったです。



# 12月 性教育

12月に中学生を対象に性教育をさせていただきました。助産師にとって小学生や中学生、高校生にいのちについて考えてもらう「いのちの出前授業」も大切な仕事です。

学年に合わせて、生命の誕生や二次性徴、体づくり、異性とのかわりについて内容を組み立て授業を行いました。中学生のみなさんも真剣に話を聞いてくれ、反応を間近に感じながらいのちについて一緒に考えることができ、わたしたちにとってとてもよい経験となりました。







## 家族計画

家族計画の演習を行いました。家族計画とは、夫婦が「自分たちの子どもを何人、どのような間隔で産み育てたいか」を考えることです。個人で対象に合わせた指導案やパンフレットを作成し、演習を行いました。先生や先輩方からのアドバイスだけでなく、学生同士でもお互いの指導に意見を出し合いながら演習を進めることができました。



# 1月 新生児訪問演習

1月に新生児訪問の演習を行いました。新生児訪問は産後、ご自宅へ帰られたお母さん、新生児の健康状態や生活状態などを知るための大切な機会です。

技術だけでなく、ご自宅へ訪問するうえでのマナーも学ぶため、実際の家のような空間を作り、お母さん役、助産師役に分かれ演習を行いました。



右の写真は赤ちゃんの体重測定を行っている様子です。  
これが1年生の1年間です。



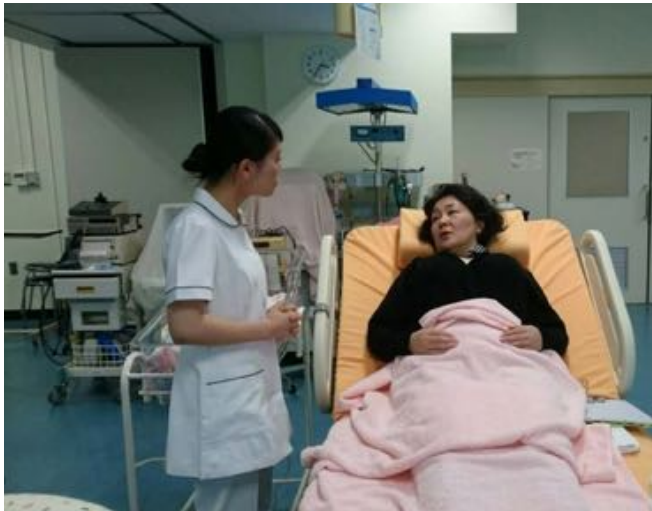
# OSCE（実技テスト）

6月：妊娠期

7月：分娩期

11月：産褥期

1月：新生児



助産学コースでは、筆記試験だけでなくオスキーと呼ばれる臨床で使える能力が身についているかを確認する実技試験を行います。

妊娠期・分娩期・産褥期・新生児の4回、オスキーが実施されます。

私たちの受けるオスキーは先生方が妊婦さんやご家族の方になって場面を設定しています。その場でアセスメントをして、妊婦さんや褥婦さんに状況を説明をし、必要なケアを実施していきます。

このテストを通して、今まで勉強してきたことや妊婦さんたちにわかりやすい説明・話し方を見直すことができます。



# 大学院での研究

## 1年生

前期：和文・英文抄読会

10月：テーマ検討会

11月～3月：倫理審査（提出・承認）

1年生2月～2年生5月：調査期間

## 2年生

8月～11月：論文まとめ

12月：審査

3月：発表



次は大学院での研究です。

1年生の前期ではクリティークの視点で論文を読むようになるという目的で、毎週みんなで論文を抄読していきます。日本語の論文もですが、英文の論文にも積極的に取り組みます。

自分の研究したいテーマを考え、文献検討を行い、担当教員と相談しながら背景・目的・研究方法を考え、10月のテーマ検討会を経て、修士論文のテーマを確定していきます。そして、テーマ検討会が終わり、11月からは倫理審査になります。

倫理審査とは自分が研究したい内容が、研究対象者の尊厳と人権を守るため、かつ、円滑に研究が進むよう審査を行うことです。

倫理審査で承認を受けたら調査期間になります。ここでは、質的研究の方はインタビューを、量的研究の方はアンケートなどを使い、データを収集します。得られたデータの分析、まとめをし、11月に論文提出です。

12月に審査を受け、最後の3月は大学院生全員での発表となります。わたしたちの先輩でこのとき研究したものを日本母性衛生学会で発表された方もいらっしゃいます。





# 他にも楽しいこといろいろ！



勉強だけでなく、みんなで遊びに行くこともあります。  
オスキーや試験が終わったら飲みに行ったり、大隅や指宿にもドライブに行ったりしました。  
また、誕生日にはケーキを買ってきて全員でお祝いもしました。

そして、今年にはブラジルからの留学生としてメグミさんがいらっしやいました。

日本での生活や文化を知るという目的で、私たちと一緒にイルミネーションに行ったり、ご飯を食べに行きました。また、大学院2年生の主催でブラジルの文化や看護教育のことをメグミさんがお話しして下さいました。

# 留学生 メグミさんとの交流



# 2年生になると…

2年生になったら実習を行っていきます。

その間にも就職活動や修士論文、国家試験の勉強も並行して行います。

**4月～5月** 妊婦健診実習  
**5月～6月** 妊娠期実習  
**6月～7月** 分娩期実習

**9月** 離島実習  
**10月** 管理実習  
**11月** 修士論文

**2月** 国家試験

就職

修士論文

国家試験の  
勉強



# 私たちは大学院を選びました！

- ・ 2年間かけて助産学をゆっくり学べる。
- ・ 普通の助産師じゃ嫌だ！ 自律した助産師になりたい！
- ・ キャリアアップを考えている。
- ・ 離島に興味がある。
- ・ 研究について学びたかった。
- ・ 学費のことも考えた。

ホームページも  
見てね

鹿児島大学 助産学コース

検索





# 私たちと一緒に、 助産学を学びませんか？

もちろん、講義や研究、課題、実習などで忙しい毎日ですが、先生方や先輩方に助けを頂きながら同期のみんなと仲良く頑張っています！  
助産師にあこがれる方、ぜひ一緒に学びませんか？

